



いま 今までにいちばん強^{つよ}かった地震^{じしん}は、いつのものなの

1960年^{ねん}5月^{がつ}22日^{にち}、チリ南部^{なんぶ}の沖^{おきあ}合^あいで起こ^おった地震^{じしん}

地震^{じしん}のエネルギーの強^{つよ}さは、マグニチュード4とか6.5、というように、マグニチュードという単位^{たんい}で表^{あらわ}します。

1960年^{ねん}5月^{がつ}22日^{にち}、南^{みなみ}アメリカのチリ南部^{なんぶ}の沖^{おきあ}合^あいで起こ^おった地震^{じしん}が、今^{いま}までに起こ^おった地震^{じしん}の中で、いちばん大^{おお}きい地震^{じしん}だといわれています。このときの地震^{じしん}の強^{つよ}さは、マグニチュード8.3です。

この地震^{じしん}では、チリで、約^{やく}5700人^{にん}が亡^なくなりました。地震^{じしん}の被害^{ひがい}は、チリの国内^{こくない}だけにとどまりませんでした。

この巨^{きょだい}大地震^{じしん}によって起き^おいた津波^{つなみ}が、1万^{まん}7000キロメートル以上^{いじょう}もはなれた、日本の太平洋^{たいへいようえんがん}沿岸^{ちほう}にも、おしよせてきました。津波^{つなみ}の高^{たか}さは、東北^{とうほく}の三陸^{さんりく}地方^{ちほう}で、5~6メートル、そのほかの地方^{ちほう}でも、3~4メートルになりました。そして、津波^{つなみ}で亡^なくなったり行^ゆくえ不明^{ふめい}になった人^{ひと}は、142人^{にん}になりました。

そのほかの強^{つよ}い地震^{じしん}

今^{いま}までに起き^おいた地震^{じしん}で、マグニチュード8以上^{いじょう}の地震^{じしん}は、次^{つぎ}のとおりです。

- ・ 1964年^{ねん} アラスカ地震^{じしん} マグニチュード8.4
- ・ 1957年^{ねん} アリューシャン地震^{じしん} マグニチュード8¹/₄
- ・ 1952年^{ねん} カムチャツカ地震^{じしん} マグニチュード8¹/₄

(監修・国司 真)

